

Istanbul Weekly vol.4-no.38

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年10月16日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：アンカラでのテロ事件を受けて3日間の服喪、選挙戦にも影響。
エルドアン大統領がダーヴトオール首相らと会談。
- 経済**：世界銀行、トルコの今年の成長率予想を3.2%に上方修正。
8月の経常赤字、過去6年間で最も低い水準に。
- 治安**：アンカラで死者99名の大規模自爆テロ発生。
PKK、11月1日の選挙当日までの停戦を一方向的に宣言。
- 軍事**：米露のPYD支援を、トルコが厳しく非難。
- 社会**：アヤママ川改良工事が今年度中に完了予定。

政治

【内政】

●アンカラ・テロ事件を受けて3日間の服喪、選挙戦にも影響

10日にアンカラで発生したテロ事件を受けて、ダーヴトオール首相は、テロを激しく非難するとともに、3日間、国家として喪に服することを表明。また、主要各党は当面の間、選挙戦キャンペーンの中止を決定しつつ、今後も大規模な選挙集会を行わず、戸別訪問や小規模集会を重ねるなど方針に転換した。(10月11日付当地H紙1面等)

●エルドアン大統領がダーヴトオール首相らと会談

アンカラでのテロ事件を受けて、12日、エルドアン大統領は、ダーヴトオール首相とテロ事件の捜査状況や今後の対応を巡って協議した。また、同大統領は、アルトゥンオク内相、イベック法相等とも個別に会談し、今後の対応を協議した。なお、野党を中心に、これら閣僚に対し、テロ事件の責任を取って辞任するよう求める声が高まっていることについて、エルドアン大統領は閣僚らの辞任の必要性はないと述べた。(10月14日付当地C紙4面)

●11月1日総選挙に向けた在外投票が開始

8日、11月1日総選挙に向けた在外投票が開始された。全世界で約289万人の有権者が存在し、13日現在、この内4.2%にあたる約12万人が投票を行った。54カ国113箇所の在外公館等で行われる在外投票は、10月25日まで行われる。(10月13日付アナトリア通信インターネット版)

●11月1日総選挙に向けた世論調査結果

世論調査機関SAMER社は、11月1日総選挙に向けた政党支持率について、AKP41.4%、CHP26.9%、MHP14.6%、HDP13.9%と発表した。また、GEZICI社は、AKP40.8%、CHP27.6%、MHP15.8%、HDP13.6%と発表した。なお、いずれの調査もアンカラのテロ事件より前に行われたもの。(10月15日付C紙4面)

経済

●8月の工業生産、前月比2.9%増加

トルコ統計庁のデータによると、8月の工業生産は前月比2.9%上昇。前年同月比では7.2%上昇した。ウシュク科学産業技術相は、一定の不確実性はあるものの、9月に経済活動が相当低下しない限り、第3四半期には3%の成長を達成できると述べた。(10月9日付HD紙第11面)

●S&P、トルコの2016年経済成長率予測を下方修正

S&Pは7日、トルコの今年の経済成長率を3%から3.1%に上方修正したが、2016年については3.2%から2.8%に下方修正した。(10月9日付HD紙第11面)

●世界銀行、トルコの今年の成長率予想を3.2%に上方修正

世界銀行は、トルコの今年の成長率予測を3.0%から3.2%に上方修正。第2四半期に予想よりも高い成長を実現したことによるもので、今年後半に成長率が大幅に鈍化すると予想されていることも計算に入れた上での修正となった。2016年及び17年の成長率予測は3.5%のまま。(10月14日付HD紙10面)

●8月の経常赤字、過去6年間で最も低い水準に

8月の経常赤字は1億6300万ドルで、過去6年間で最も低い水準となった。これは、貿易赤字の減少が主な要因。同月の貿易赤字は、原油価格の急落や自動車輸出増大により、前年同月比40%減の49億ドル。(10月15日付HD紙10面)

●7月期の失業率9.8%

統計庁によると、7月期の失業率は、前月比0.2%増加し9.8%。若年層(15~24歳)の失業率は、同0.1%増加し18.3%。世界銀行は、7日に発表した報告書で、トルコでは雇用創出のペースが上がっているが、労働力の急激な増加により追いつかず、失業率が上昇しているとした。(10月16日付HD紙11面)

治安

●アンカラで大規模自爆テロ

10日午後10時4分頃、アンカラ中央駅付近で、左翼系組織の反戦大規模デモの最中に自爆テロとみられる二件の爆発が発生し、99名が死亡（10月16日現在）、400名以上が負傷した。ISILは、自身のツイッターで「アンカラの共産主義者のデモで、神の思し召しにより、大きな爆発があったようだ」「神よ死者を増やし給え」などと直接的な関与を否定する声明を発売した。ダーヴトオール首相は、「主要な容疑者はISILであるが、PKKやDHKP/Cも捜査している」と発言。（10月11日付HT紙インターネット版、M紙インターネット版等）

●PKKが選挙投票日（11月1日）までの一方的停戦を宣言

10日、アンカラでの大規模爆発があった直後、PKKの指導者ジェミル・バユクは、「選挙までの期間、PKKは攻撃されない限り戦闘を停止する。」と宣言。アンカラでの大規模自爆テロ事件についての言及は無かった。

これに対して、アクドアン副首相は、「同宣言はPKKの選挙に向けた戦術に過ぎず、彼らが武器を全て捨てるまで、政府によるテロとの闘いは継続される」と発言。（10月13日付HT紙12面）

●PKKとの衝突で兵士・警察官死亡

11日エルズルム県において、ジャンダルマ（軍警察）がPKKオペレーション中にPKKと戦闘が発生し、兵士2名が死亡。また、同日ディヤルバクル県スル郡において、PKK支持者によって設置されたバリケードを除去中に爆弾が爆発し警察官1名が死亡、6人が負傷した。（10月12日付HD紙1面）

●アンカラとアダナで、喪に服さず結婚式を挙げて射殺事件

アンカラでの大規模自爆テロ事件後の3日間の服喪期間中に、アンカラ県とアダナ県において、結婚披露宴を挙げたとして披露宴関係者が射殺される事件が発生。犯人が、喪に服して披露宴を止めるよう関係者に促したにもかかわらず、聞き入れられなかった由。アンカラの事件ではショットガンで撃たれた1名が死亡。アダナ県の事件では、短銃と猟銃と火炎瓶が使われ、1名が死亡、2人が負傷した。（10月12日付HT紙2面、同13日付HD紙2面）

●50名のISIL関係者を拘束

アンカラでの大規模自爆テロ事件を受けて、治安当局は全国で一斉取締りを実施し、ISIL関係者50名を拘束した。アダナ県では、11名、アンタルヤ県では8名、シャンルウルファ県では14名、イズミル県では7名、コンヤ県では14名、等となっている（10月13日付HD紙3面）

●自爆テロ手配の21名についての情報

治安当局筋の情報によると、シリアに渡ったまま帰国せず行方不明となり、現在、自爆テロ犯になっている可能性が高い者21名について、氏名と顔写真が公表された。彼らは、ドクマジュラルという名前の男をリーダーに「ドクマジュラル」グループと呼ばれ、6名が女性。21名のうち数名がトルコに入国しており、ISILからの自爆命令が出るまで潜伏しているとのこと。（10月13日付M紙インターネット版等）



（写真は同記事から。）

●地下鉄タクシム駅とオスマンベイ駅が爆弾騒ぎ？で封鎖

13日正午頃、イスタンブール市内タクシム駅とオスマンベイ駅が、「電気系統のトラブル」との理由で一時封鎖された。しかし、現場には警察の爆発物探知犬も派遣されてきており、何らかの不審物件があったが、爆弾では無かった可能性が高い。（14日付HT紙14面）

●大規模自爆テロ事件を受けてアンカラ県警察幹部が更迭

10日に発生した大規模テロ事件を受けて、アンカラ県警察本部長、同警察情報部長、警備部長が更迭された。野党から責任を問われている内務大臣は続投。（10月14日付HT紙18面）

●エルドアン大統領がアンカラ事件について言及

13日夜、アンカラ大規模自爆テロ事件後、文書による声明のみであったエルドアン大統領が、事件3日後、初めて肉声で事件について言及、治安対策上のミスがあったことを認め、テロが発生した原因究明のための「特別調査委員会」を立ち上げる旨述べた。また、犯人像について「シリアにルーツがある」と述べるも、ISILを名指しすることはせず、シリアのPKKが関与している可能性に言及。（10月14日付AFP通信）

●PKK関係者2名をアンカラ大規模自爆テロ事件容疑で拘束

14日、アンカラ大規模自爆テロ事件の容疑者として、事件数時間前に「本日アンカラで爆発が起きる」とSNSに投稿していたPKK関係者とされる男2名が拘束された。同日ダーヴトオール首相は「ISILとPKKが事件で大きな役割を果たした可能性が高い。自爆テロ犯は、ISILと関係を持っていたが、同時にPKKグループとも関連を持っていた。」「何人かの容疑者は何ヶ月ものシリア渡航歴があった」と述べた。（10月13日日付HT紙4面）

●広範なメディア規制を裁判所が命令

14日、アンカラの裁判所は、アンカラでの大規模自爆テロ事件の捜査に関し、広範な報道規制を決定した。これによれば、規制は、アンカラ自爆テロ事件の捜査について、全ての種類のニュース、インタビュー、批評、SNS、インターネットが対象となる。2010年から2014年にかけて、トルコのメディアは、人命被害事件、汚職事件、政府幹部への盗聴事件、鉱山事故などについて、150件もの報道規制が実施された。（10月14日付HD紙インターネット版）

軍事

●トルコ空軍機、シリア空軍戦闘機とシリアの対空レーダーの挑発を受ける

参謀本部は10日、シリア国境近くにおいて、パトロール中のトルコ空軍のF16戦闘機が、シリア側の基地から2分間にわたり、対空ミサイルレーダーを照射される嫌がらせを受け、またSU-22、SU-24戦闘機による35秒間にわたる妨害行為を受けたと発表。先週末には、ロシアのミグ29戦闘機による、トルコ空軍機への嫌がらせや、シリア側基地からの対空レーダー照射の妨害を受けていた。（10月12日付HD紙8面）

●米露のPYD支援をトルコが厳しく非難

13日、ダーヴトオール首相は、米露とロシアが、北シリアのクルド人勢力で、PKKの関連組織とも言われるPYDを支援していると厳しく非難。両国大使を外務省に呼び抗議を行った。ロシアのプーチン大統領は、同日「トルコはロシ

アの最も重要なパートナーの一つであり、ロシアのシリアでの軍事行動に対するトルコの懸念を理解し、テロリストと共に戦うためにどのように関係を構築していくべきか理解している。」「政治レベルでの共同作業が必要だ。」等と述べた。(10月14日付けHT紙14面ほか)

●PYDのユーフラテス川以西への侵攻の兆し？

トルコ政府関係者は、シリアのクルド系勢力PYDがユーフラテス川より西に侵攻し、支配地を広げようとしている可能性があることについて言及。「PYDは、米国に加えロシアの支援を受けて、ユーフラテス川以西のジャラブルスとアザズ間を支配領域に入れようとしている。彼らの目的は地中海に連なる支配領域を確立することだ。我々はこれを決して容認することはできない。」等と述べた。(10月13日付TZ紙インターネット版)

社会

●アヤママ川改良工事が今年度中に完了予定

イスタンブール水道局(iSKI)によって2008年8月から実施されているアヤママ川改良工事は、当初予定された8.3キロメートルの内5.4キロメートルまで終了し、今年度中に全工事が完了する予定。アヤママ川はバシヤクシェヒル、スルタンガーズィ、バージュラル、パフチェリエヴレル、キュチュックチェクメジェ及びバクルキョイ地区を通り、マルマラ海に流れる全長42キロメートルの川で、工事は長年発生してきた洪水の防止を目的とする。(10月13日HT紙19面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

| 略語 | 正式名称 | 略語 | 正式名称 |
|--------|------------------------|---------|------------------|
| AFAD | 首相府緊急災害事態対応総局 | ÖSB | PKKの防衛隊 |
| AKP | 公正発展党（現与党） | OIB | 首相府民営化管理庁 |
| BDDK | 銀行監督庁 | PKK | クルディスタン労働党 |
| BDP | 平和民主主義党（クルド政党） | PYD | シリア民主主義連合党 |
| BOT | 建設・運営・譲渡方式 | RP | 福祉党 |
| CHP | 共和人民党（最大野党） | RTÜK | ラジオ・テレビ高等機構 |
| DEP | 民主党 | SNC | シリア国民評議会 |
| DHKP/C | 革命人民解放党/戦線 | SPK | 証券取引監査院 |
| DHMI | 国家航空局 | SSM | 防衛産業庁 |
| DISK | 先進労働組合連合 | TBB | トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会 |
| DTK | 民主主義社会評議会 | TCDD | トルコ国鉄 |
| DTP | 民主社会党 | TDHB | トルコ歯科医師会 |
| DYP | 正道党 | TESK | トルコ商工業連合 |
| EDAM | 経済外交政策センター | THY | ターキッシュ・エアラインズ |
| EPDK | エネルギー市場監督庁 | TİKKO | トルコ労働者・農民解放軍 |
| HDP | 人民民主党（クルド政党） | TMMOB | トルコ・エンジニア・建築会議連盟 |
| HSYK | 裁判官・検事高等委員会 | TOKİ | トルコ集合住宅開発局 |
| İDO | イスタンブール海上フェリー会社 | TOMA | 放水装甲車 |
| İHH | 人権・自由・人道支援団体 | TPAO | トルコ石油公社 |
| İKSV | イスタンブール文化芸術財団 | TTB | トルコ医師会 |
| İSO | イスタンブール産業会議所 | TÜBİTAK | トルコ科学技術研究機構 |
| işİD | イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系） | TÜİK | トルコ統計庁 |
| İTO | イスタンブール商工会議所 | TÜPRAS | トルコ石油精製会社 |
| KCK | クルディスタン共同体同盟（PKK系） | TÜSIAD | トルコ産業・実業家協会 |
| KESK | 公務員労働組合連合 | TÜYİD | トルコ投資家関係協会 |
| KRG | 北イラク政府 | YÖK | トルコ高等教育評議会 |
| MHP | 民族主義者行動党（野党） | YSK | 選挙高等委員会 |
| MIT | 国家諜報機関 | | |

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

| トルコ語新聞 | | 英字新聞 | | 通信社 | |
|------------|----|------------------------------|------|----------------------|-----|
| Akşam | A | Economist | EC | Anadolu News Agency | AA |
| Cumhuriyet | C | International New York Times | INYT | Agence France Presse | AFP |
| Haberturk | HT | Hürriyet Daily News | HDN | Gihan News Agency | GA |
| Hürriyet | H | Today's Zaman | TZ | Doğan News Agency | DA |
| Milliyet | M | | | Ihlas News Agency | IA |
| Posta | P | | | Interpress | IP |
| Radikal | R | | | | |
| Sabah | S | | | | |
| Taraf | T | | | | |
| Vatan | V | | | | |
| Zaman | Z | | | | |

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

| イスタンブール邦人被害統計 | | | | | | | | |
|---------------------------------------|----|----|----|----|-------------|-----|------------|----|
| 2014.1.1～2015.10.15 ※総領事館に訴出があったものを集計 | | | | | | | | |
| 年 | 窃盗 | | 詐欺 | | ぼったくりバー(相談) | | 高額絨毯購入(相談) | |
| | 今週 | 通算 | 今週 | 通算 | 今週 | 通算 | 今週 | 通算 |
| 2014年 | | 2件 | | 4件 | | 33件 | | 5件 |
| 2015年 | 0件 | 6件 | 0件 | 2件 | 0件 | 15件 | 0件 | 7件 |

●今週は、被害の届け出はありませんでした。

★当館HP更新のお知らせ★

- 行事報告：「久保修 紙のジャポニズム 切り絵展」オープニングレセプション **NEW**
- 行事報告：「日土展4」オープニング式典 **NEW**
- 海外安全対策情報（2015年7～9月）(10/15) **NEW**
- トルコ危険情報（10/06） **NEW**

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。